



第9回スピーチ集会

「スポーツマンシップとは」 (1年 尾島 栖良)

みなさんは、スポーツマンシップとは何か分かりますか？僕なども選手宣誓の時などに聞くことはあっても、どういふものなのかあまり知りませんでした。



しかし、野球をやっているスポーツマンシップを知らないのはまずいと思い、スポーツマンシップについて調べてみました。

スポーツマンシップとは、スポーツのルールを守って競技を行っていく上での根本的な姿勢をいうものです。また、スポーツマンシップとは、スポーツをすること自体を楽しみとし、公正なプレーを尊重し、相手の選手に対する尊敬や賞賛、同じスポーツを競技する仲間としての意義を持って行われる活動であるという姿勢となって表され、選手同士が試合の前や後に挨拶を交わすのもスポーツマンシップの延長で見られる風習であるそうです。

このようなスポーツマンシップのことを知って、公正にプレーしようというのは、とても良いことだと思います。また、マナーである試合の前や後の挨拶は、日頃でも大切だと思うので守っていききたいと思いました。

しかし、それとは別にアメリカンフットボールやアイスホッケーなどのスポーツ競技において、プレー中の接触に関して起こる、スポーツマンらしくない行為または、反則を非スポーツマン行為といえます。

アメリカンフットボールでは、相手を侮辱したり、威嚇、挑発するような仕草や得点時にボールをフィールドに投げつける等の過剰なパフォーマンス行為に対しては、ペナルティーを課せられます。

僕も野球でギリギリのプレーでアウトになったときは、審判に「なんで？」などと言ってしまふことがあるので、気をつけていきたいと思っています。

これからは、スポーツマンシップにのっとり、スポーツをできることに感謝し、相手の選手を尊重し、公正なプレーを心がけます。そして、相手や審判などへのマナーをしっかり守っていききたいです。

あまり原稿を覚えていなくて前をしっかり向いて発表できなかったのも、次はもう少し覚えたい。

また、自分の考えをあまり入れることができなかったのも、次はどんどん入れていきたい。(尾島 栖良)

「My Classmate」 (1年 上田 一穂)

皆さんのまわりには、どんなクラスメイトがいますか？



私のクラスメイトには、ムードメーカーな人、まじめな人、マイペースな人など人それぞれ個性豊かな人たちがたくさんいます。

そんなクラスメイトとは、どのように付き合っていけばいいのでしょうか？

私たちのクラスは、まわりから見るととても仲が良いように見られます。確かに内地の人たちから見たら、人数も少ないので仲が良いと思われることが多々あります。

しかし、実際には男女でケンカをしたり、小さな嫌がらせなどが見えない所でたくさんあります。また、私自身が一番クラスメイトとの交流でたいへんなことは、クラスメイトの多くが保育所からの付き合いなので、皆が皆のことを「昔もああったから今もこう」と思い込んでしまう所です。その思い込みで衝突したりしてしまいます。

私もたくさんの思い込みをして、その分たくさんケンカをしました。

そこで、クラスメイトとの付き合い方を考えてみました。「ケンカするほど仲が良い」と言いますが、私は人との壁を作ったり、ケンカしたりすることは好きではありません。だから、一人一人の性格にうまく対応できるようにしたいです。

そのためには、一人一人のクセや性格を知ることが大切です。私はこれまで、「昔は大きかったけど、今チビだね～」などといった小さなケンカをしていました。しかし、今は、いろいろな経験から、一人一人の嫌なことなどが分かるようになりました。その経験から、クラスメイトと上手く付き合うカギだと思えるようになりました。

私は、その対応をできるだけずっとできるようにしたいです。それと同時に、見方を変えたと、今まで無理だと思っていたことは、良い方向に変わるということも知りました。

これからは、物の見方を変え、クラスメイトとの向き合い方を少しずつ変えながら、一人一人としっかり向き合えるようにして、残りの2年間、これからも仲良くしたいと思っています。

沃野



竹富町立
船浦中学校
学校便り
第37号

発行責任者
校長
仲田欣五

私は原稿を書いて丁寧に文を書くことが難しかったです。次からは、ふわふわ言葉をつなぐように、中学生らしい文を書けるように言葉遣いについて勉強したいです。
(上田 一穂)